



OHCHO だより第2号

Okayama Heart of Children Hospital Organization

岡山県と当センターが行っている「子どもの心の診療拠点病院事業」について
当センターの職員の皆さまへのお知らせの第2号です。

この事業に関連した動き

- 2月12日に、県内の代表的な医療機関の小児科のドクターや児童精神科のドクター9名が集まり、岡山県での「子どもの心の臨床について課題」など、これから取り組むべき事業の方向性について活発に意見の交換を行いました。



- 次のような課題が指摘され（一部のみ御紹介します）、共有されました。
 - 発達障害児にはライフステージを見通した見守りの必要性がある。
 - 医師による診断の不一致、診断後の対応の不揃いがある。乳幼児期には軽度でも思春期にいたって大きな問題が起きることがある。
 - 児と母親の居場所が不足している。特に母親のメンタルヘルス支援は重要。
 - 県内に専門家や社会資源の地域差がある。
 - 小児科と精神科が合同で行う事例検討会が必要である。
- 21年度初頭に児童相談所や保健所などの行政機関を交えた意見交換会を行う予定です。

岡山県精神科医会総会講演会

平成21年4月11日 土曜日 3時～ 岡山衛生会館中ホール

演題 「現代の子どもの精神科臨床の課題について」

講師 国立成育医療センターこころの診療部育児心理科 笠原麻里先生

第1回子どもの心の診療拠点病院事例検討会

平成21年4月12日 日曜日 午前9時30分～ 当院サントホール

事例提供者：高橋由香先生、三宅聖子先生（希望ヶ丘ホスピタル）

助言者：笠原麻里先生